

## I. 予備調査について

### I-1. 事業管理者のプロフィール

団体名 (代表者名)	一般社団法人岡山県建設業協会		
所在地	岡山市北区平和町5-10		
電話番号	086-225-4131	E-mail	ho02@okakenkyo.jp
FAX番号	086-225-5388	URL	http://www.okakenkyo.jp
設立年月日	昭和24年10月1日	担当者名	事務局長 中野英二

### I-2. 申請時の事業概要

(一社)岡山県建設業協会が関係団体(行政、教育訓練施設・機関等)と連携し、岡山地域における教育訓練体系構築に向けた実態調査等を行い、実施事業への移行可能性について調査検討するとともに、建設業に関する戦略的広報事業を実施する。

#### 1. 地域連携ネットワーク構築に向けた調査等

建設業団体や行政、教育訓練施設・機関等の担い手確保・育成に係る活動について調査し、関係団体による担い手確保・育成の連携のあり方について検討する。

#### 2. 教育訓練施設・機関等の調査

県内外の先進的な取組や既存訓練施設(岡山県建設技術センター等)の教育・研修内容の現状調査と新たな活用方策について検討

#### 3. 戦略的広報の試験的実施の検討

戦略的広報として次の事業を試験的に実施する。

- ①建設業への理解を促進するための広報イベントの実施
- ②高校生の建設業への入職促進事業(現場見学会・企業説明会等)

#### 4. 実施事業移行に係る検討

上記の教育訓練施設等の調査等を踏まえ、技術者を中心とした研修会のあり方について検討の上、実施事業移行への可能性について検討する。

## Ⅱ. 調査結果

### Ⅱ-1. 実施した調査内容

※調査を行った事項について、具体的に記入してください。

#### 1. 地域連携ネットワーク構築に向けた調査等

- (1) 予備調査の実施に先立ち、建設業協会役員、岡山労働局、県土木部・産業労働部、県教育庁、県立工業高校とで構成される岡山県建設雇用等改善委員会を開催（28年7月29日）、この予備調査の実施について説明した。
- (2) 建設業団体に対する調査として、これまで協会の会員の雇用状況、雇用に対する施策ニーズ等についてほとんど把握されてないことを踏まえ、全会員に対し雇用の実態（雇用者数、についてアンケート調査を実施した。

#### 【建設業担い手確保に関するアンケート】

- ①対象：会員
- ②有効回答：157会員
- ③調査内容：過去6年の採用状況、離職状況、技術者等の過不足状況、入職者研修の必要性等
- ④調査結果：添付のとおり
  - ・採用後5年未満の離職率が48%、3年未満の離職率が18.4%と高い数字であった。
  - ・定着を促進するための入職前後の研修を要望する意見が多く、取組を進める必要がある。

会員を対象としたアンケート調査では、採用しても5年で約半数が退職している実態があり、また、その対策として、定着促進の研修等についてのニーズが高いことが判明した。

#### 2. 教育訓練施設・機関等の調査

- (1) (公財)岡山県建設技術センター
  - 10月28日：訪問して研修科目等調査
  - 11月22日：同センター研修協議会において入職者定着促進のための研修実施に向けて協議
- (2) 岡山県立高等技術専門校、ポリテクセンター岡山の研修・訓練科目調査
- (3) 三田建設技能研修センター（兵庫県）
  - 12月14日：訪問して設備、研修科目等調査、入職者定着促進のための研修について協議

#### 3. 戦略的広報の試験的実施の検討

戦略的広報として次の事業を実施した。

- (1) 建設業への理解を促進するための広報イベントの実施
- (2) 高校生の建設業への入職促進事業（現場見学会・企業説明会等）

## Ⅱ－２．地域教育訓練ネットワーク構築について

※団体等と連携し、教育訓練組織のネットワーク連携の可能性について記入してください。

岡山県内には建専連がなく、技能系団体との連携が難しいため、地域連携ネットワークの構築は困難である。また、定着促進のための研修が実施可能と思われる（公財）岡山県建設技術センター及び兵庫県の三田建設技能研修センターと協議を行うも、連携体を作るというところまで至らなかった。

## Ⅱ－３．教育訓練体系の内容について

※教育訓練施設の確保やカリキュラム・教材・講師等について調査内容を記入してください。

定着促進のための研修を実施するため、（公財）岡山県建設技術センター及び兵庫県の三田建設技能研修センターと協議した結果、以下の研修が実施されることとなった。

### １．就職前研修の実施

西日本建設業保証（株）の支援を得て、平成２９年３月、三田建設技能研修センターにおいて実施する。協会からの参加者は７名の予定。カリキュラム等は別添のとおり。

### ２．就職後研修の実施

（公財）岡山県建設技術センターの事業として、平成２９年前半に実施される予定。  
カリキュラム等は策定中。

なお、（公財）岡山県建設技術センター、岡山県立高等技術専門校、ポリテクセンター岡山、三田建設技能研修センター（兵庫県）で実施されている研修等の概要は添付のとおりです。

## Ⅱ-4. その他周辺事業について

※その他広報活動などはここに記入してください。

### 1. 広報イベント「体感・体験 建設現場へGO！」の開催

主に小・中学生やその保護者を対象に、産学官が協力して建設業の役割とその重要性を紹介するとともに、建設機械への試乗や、各種の作業体験、建設技術などをわかりやすく紹介するコーナーを設けるなどにより、土木・建築系の高校・大学等への進学や建設産業への就職が将来の進路の選択肢となるように動機付けを図るために開催した。

実施時期 平成 28 年 8 月 20 日

実施場所 岡山市北区「岡山ドーム」

参加者 主に小・中学生やその保護者等 約 1,200 人参加

### 2. 高校生の建設業への入職促進事業

#### (1) 現場見学会の実施

建設業の現場等を実際に見学することで、建設業の魅力を感じてもらい、建設業への入職を促進するため、県内の県立高校で土木系・建築系学科（5校6学科）の生徒等約280人を対象に、県土木部及び教育庁と共催して現場見学会を実施した。

実施時期：平成 28 年 11 月～12 月

実施場所：県内を中心に建設現場等を見学

参加者：県立高校の土木系、建築系学科の生徒、教職員等 約280名

#### (2) 建設企業説明会「おかやま建設企業ライブ」の開催

県立高校の土木系・建築系学科で学んでいる高校生等約250人を対象に、建設企業説明会を開催、協会から会員企業31社が参加し各企業の紹介や施工技術など建設産業の現在の姿を伝えるとともに高校生からの疑問に答えることにより、高校生に建設産業への理解を深めてもらい、建設産業への就職が選択肢になるよう実施した。

実施時期：平成 29 年 1 月 19 日

実施場所：岡山市北区ジップアリーナ

参加者：県立高校の土木系、建築系学科の生徒、教職員等 約250名

## Ⅱ－５．実施事業への移行について

※実施事業に移行できるかどうか。誰とどのようなことをしたいか等大まかな予定を記入してください。

Ⅱ－３に記載の定着促進のための研修を別に実施することとなったため、本件実施事業については見送ることとしたい。

以 上